

1. 事業説明シート

事業名	経営体育成基盤整備事業 (国補)	事業箇所	北杜市須玉町大豆生田、藤田、大蔵	地区名	ほたりの 穂足	事業主体	山梨県																					
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 本地区は北杜市東部に位置する水田地帯である。ここは非常においしいと評価が高い「梨北米」の産地であるが、本地区内のほ場は1区画10a (20m×50m) 程度と狭小なため、機械幅が2mを超える田植機やコンバインなどの大型農業機械での作業はむずかしく、農家の負担が大きくなることが一番の課題となっている。</p> <p>また地区内の農道は1.6m程度と幅員が狭く、未整備な路線も多いため、軽トラックや農作業車での移動に危険が生じているとともに、用排水路に至っては老朽化により通水機能が低下しているため、水田への取水の水管理に時間を費やしている。</p> <p>一方で地域内には意欲ある担い手が存在し、更なる生産の拡大と品質の向上を目指しており、将来に向けた地域農業の保全が保たれる体制は整っている。</p> <p>このような課題と背景をもとに、農地集積を目的とした区画整理を行うことで、農業生産力の向上による産地の強化や、農作物の安定供給を図るものである。</p>				<p>⑤年度別の整備内容 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr><td>平成30年度</td><td>測量・設計</td><td>100百万円</td></tr> <tr><td>平成31年度</td><td>区画整理</td><td>100百万円</td></tr> <tr><td>平成32年度</td><td>区画整理</td><td>200百万円</td></tr> <tr><td>平成33年度</td><td>区画整理</td><td>300百万円</td></tr> <tr><td>平成34年度</td><td>区画整理</td><td>300百万円</td></tr> <tr><td>平成35年度</td><td>区画整理</td><td>200百万円</td></tr> <tr><td>平成36年度</td><td>区画整理</td><td>120百万円</td></tr> </table> <p>□既整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>				平成30年度	測量・設計	100百万円	平成31年度	区画整理	100百万円	平成32年度	区画整理	200百万円	平成33年度	区画整理	300百万円	平成34年度	区画整理	300百万円	平成35年度	区画整理	200百万円	平成36年度	区画整理	120百万円
平成30年度	測量・設計	100百万円																										
平成31年度	区画整理	100百万円																										
平成32年度	区画整理	200百万円																										
平成33年度	区画整理	300百万円																										
平成34年度	区画整理	300百万円																										
平成35年度	区画整理	200百万円																										
平成36年度	区画整理	120百万円																										
<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得の増加額 2,457千円/ha ≥ 2,429千円/ha ※ (生産基盤整備により農業所得の増加が図られる。) (※評価基準値)</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 (使用年数50年) ÷ (耐用年数30年) = 1.66 ≥ 1.00 ※ ・排水能力向上率 (計画排水能力0.149m³/s) ÷ (現況排水能力0.139m³/s) = 1.07 ≥ 1.00 ※ (※評価基準値)</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 (農地として再利用する計画あり) ○重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)</p>				<p>(3) 中・長期計画等の位置付け 新・やまなし農業大綱 (H27~H31)</p>																								
<p>③目標達成の方法 区画整理 13工区</p>				<p>(4) 事業位置等図</p>																								
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 区画整理 47.0ha</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成36年度</p> <p>④総事業費 約1,320百万円 (国費726百万円(5.5/10)、県費363百万円(2.75/10)、市費等231百万円(1.75/10))</p>																												

2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当・妥当でない</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) 本事業は、食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給のほか、農地が持つ洪水調整機能や良好な景観の形成など、食料供給の機能以外の多面にわたる機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。</p>	<p>(理由) 農業生産基盤を一体的に整備することで担い手の農地集積が可能となるなど、水田のために最適な事業である。 区画整理を進めることで農地の適切な保全に繋がり、同時に農地の持つ多面的機能の発揮が可能となる。 また、区画整理エリア内から発生する石礫などは法面の安定に活用するなどコスト削減を考慮した計画となっている。</p>
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当・妥当でない</p>	<p>□他の整備手法の有無 有・無</p>
<p>(理由) 本事業は、農業生産基盤を総合的に整備して農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものである。 また、「土地改良法施行令」第50条第3項の県営事業で申請すべき事業要件にも合致している。このため県が主体となって行うべきである。</p>	<p>(状況) 水田地帯の農業生産基盤を効率的、一体的に整備するには、本事業の他に適した事業はない。</p>
<p>(3) 経済効率性 妥当・妥当でない</p>	<p>(6) 環境負荷への配慮 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) ・費用(C)=15.1億円 (内訳)区画整理15.1億円 (内訳)当該事業による費用11.1億円 その他関連施設の再整備費用4.0億円 ・便益(B)=17.9億円 (内訳)作物生産効果4.3億円 営農経費節減効果12.9億円 維持管理費節減効果△0.1億円 耕作放棄地防止効果0.8億円 ・費用便益比(B/C)=1.2 ・費用便益比(B/C)は国の採択基準1.0を超えている。</p>	<p>(理由) 本事業は水田地帯における基盤整備であるため、従前の農村景観の保全に配慮し農地の法面部は土羽構造を基本とし周辺景観との調和を図る。 工事による生態系、景観等への影響があると判断された場合には、回避、代替、低減などを踏まえた対策等を講ずる。 なお本地区の担い手は、農薬や化学肥料の使用量を削減して栽培する「梨北信玄米」の栽培を計画しており、事業実施による営農面積の拡大により更なる環境農業の推進に繋がる。</p>
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 妥当・妥当でない</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) 地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。 □同等施設等(計画を含む)の有無 有・無 (状況) □必要整備量の根拠 (状況) 区画整理： 区画の整形、担い手への集積等農作業の省力化を図るためのもので作業効率が悪い農地を対象とした。 (用排水路)： (老朽化により用水の安定確保や排水能力に支障を来している施設を対象とし区画整理と一体的に整備を行う。) (農道)： (農作物の運搬等に必要な幅員が確保されていない農道を対象とし区画整理と一体的に整備を行う。) (除礫及び暗渠排水)： (区画整理整備エリア内において、耕作に支障が及んでいる箇所について対象とした。)</p>	<p>(理由) 北杜市は事業計画にあたり各行政区単位での受益者説明会を開催し、将来の営農に帯するアンケート調査を実施の上、整備を希望し合意形成が得られた範囲で事業計画を策定した。 また、事業を進めるうえで地域間の連携や合意形成が重要であることから地区内の代表者で構成する「穂足地区事業推進協議会」を立ち上げ、円滑な事業推進を図るなど地元の熟度は高い。 《総合評価》 妥当・妥当でない (理由) 7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>

2. 添付資料シート(1)



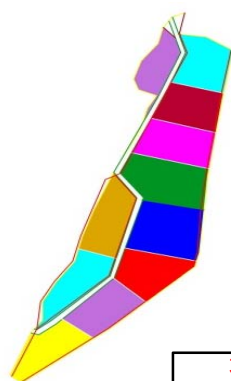
添付資料シート(2)



所有者の分散状況

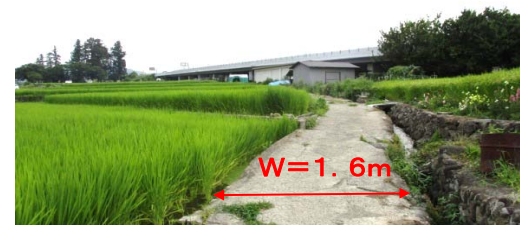


整備前



整備後

担い手に集積
(標準区画面積)
A=50a



②道路幅員が狭く、路面状況が悪いため
農作業車での輸送・運搬に支障を来している。

①不整形で狭小な区画を解消し担い手への集積を図る区画整理



・「不整形」で「狭小」な農地を大区画に整備することで担い手への集積が可能となる！
・道路・水路の整備を行い農作業の効率化や維持管理軽減が可能となる！



③市内における区画整理した水田

整備済の水田では、大型機械による田植え～稲刈りが
行われており農家の営農労力の軽減が図られている。



④多くの人で賑わう「農産物直売所」へ
地域農産物の安定した出荷を促進し
農業経営の安定化を図る。



⑤地区内の担い手が栽培
している梨北米